

48期生 進路通信

茨木市立北中学校

2023年3月8日

受験当日のポイント

【受験当日のポイント】

- 【Point 1】時間に余裕をもって起きよう（早寝早起き）
- 【Point 2】持ち物チェックを最低2回（前日の夜、当日の朝）はしよう
- 【Point 3】受験会場には遅くとも1時間前～30分前には着くようにしよう
- 【Point 4】案内板に掲示された注意事項をよく読むこと
- 【Point 5】①受験番号 ②名前 ③中学校名を必ず書くこと
- 【Point 6】試験の休み時間にテストの答え合わせを友達としないこと

【持ち物チェックリスト】

- ☐受験票 ☐筆記用具（シャーペンも消しゴムも2～3個必要です）
 - ☐コンパス・直定規（分度器機能がついてないもの） ☐交通費（必要な場合のみ）
 - ☐お弁当・水筒 ☐生徒手帳・ハンカチ・ティッシュ ☐腕時計 ☐防寒着
 - ☐上履き（落書きは消しておきましょう） ☐参考書・ノート ☐カイロ
- ※携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書は持ち込み不可。
- ※防寒着の着用は認められています。

今日の夜に準備しておこう。受験票は帰ったらすぐ確認！

【こんなときどうする？】

携帯電話は公立入試では、持ち込み不可と書かれてある高校がほとんどです。もし、事故なので電車やバスがかなり遅れる場合はどうしたらいいのかここに書いておきます。

- ①公衆電話を探し、中学校に電話して下さい。
- ②電車内やバス内の場合は、車掌さんか周りの人をお願いして携帯電話を借りて中学校に電話して下さい。

とりあえず中学校に電話をしてくれたら、そこから高校へ連絡をします。

☆遅延証明書は必要ありません。

～先生が受験のときに取り組んでいたこと～

□すぐ問題用紙を開かない

焦るとミスが出やすいので、一呼吸おいて気持ちを落ち着かせてから問題に取り組むようにしました。それ以前は時間配分も気にせず急いで問題を解いて失敗をしていました。

□答え合わせをしない

休み時間中に答え合わせしても意味がありません。逆に間違えていることがわかれば、不安になりいつもの実力を発揮できなくなります。答え合わせは、すべて終わってからにしましょう。戦略を練っていると思うので、その通り頑張りましょう。

□数学の問題は大問1から解く必要はない

数学に関して言えば、大問1から問題を解く必要はありません。先生は苦手な計算問題は後回しにしました。それ以外で解けそうな問題から取り組みました。

□時間配分を決める

数学だと大問1～4ぐらいまであります。試験時間は50分（B問題）なので、単純計算すると大問1ごとにかかる時間は約10分（残り10分は見直しの時間）です。先生の場合はなるべく均等に時間を分けました。どう戦略を練るかは人それぞれだと思います。状況によっては、難しい問題を捨てる必要ことも戦略の1つです。どの高校を受験するにしても大問1と2は必ず解けるように！テストの順番は、国・数・英・理・社です。

□自分に自信を持つこと

受験は団体戦だとよく言われます。ある意味正しいと思います。切磋琢磨できる仲間が近くにいるから辛い受験勉強を乗り切れるものです。仲間に教えてもらったり、教えたりと。一人だけで立ち向かうのは想像以上に大変です。今まで自分が頑張ってきたこと、周りに応援してくれる仲間がいること、に自信を持って試験に立ち向かいましょう。他の受験生ができないことを考えるのではなく、自分が目指していた点数をとれるように頑張ろう！他の受験生は関係ない、自分が頑張るだけだと思います。ちなみに先生は試験を受けるときは、この中で自分が一番賢いと思ってゆっくりと問題用紙を開いて問題に取り組んでいました。

☆昨日、「昨年の数学を問いたら満点でした！」と教えてくれた子がいます。こういったことを積み重ねて自分に自信を持つことが大事だと思います。満点はすごい！！

自分の力を最大限に発揮するため、夜更かしせずコンディションを整えよう！